

第4号様式（第8条関係）

議 事 録

| | | | |
|------|---|------|----|
| 会議名 | 町史編集委員会 | | |
| 日 時 | 令和元年12月4日(水)15:00～17:00 | 開催形態 | 公開 |
| 場 所 | 寒川総合図書館会議室 | | |
| 出席者 | 委員：圭室委員、鈴木委員、大口委員、鳥養委員、内海委員 事務局：高木館長、平尾主任主事 傍聴者：なし | | |
| 議 題 | (1) 令和元年度事業中間報告について (2) 令和元年度の刊行物について (3) 町制施行80周年記念誌について (4) その他 | | |
| 決定事項 | (1) 令和元年11月末現在の事業実施状況について説明し、了承された。 (2) 令和元年度に刊行する印刷物の内容について協議。特に『寒川町史研究』第31号の内容について審議し、了承された。 (3) 令和2年11月1日の町制80周年の記念日に向けて、記念誌を発行する予定である。その基本方針について協議し、了承された。担当は内海委員となった。 | | |
| 議 事 | <p>(1) 令和元年度事業中間報告について</p> <p>○令和元年11月末現在の事業実施状況について事務局から説明したところ、次のような質疑があった。</p> <p>(委 員) 古文書愛読会で読んだ史料を刊行物に活用するような構想はあるのか。 (事務局) これまでも町史研究に翻刻したことがあるが、いま読み進めている史料についても、調査報告書など何らかの形で活字に残すことを検討したい。</p> <p>(委 員) 文書館の使命のひとつは目録と史料集を出すことにあると考える。藤沢市も「藤澤山日鑑」を出すことに意義があった。愛読会の皆さんの力も借りて、大口委員にも目を通してもらって、ぜひ定期的に発行してもらいたい。</p> <p>(委 員) 高校生のインターンシップの感想文を「文書館だより」に載せたのは良かった。図書館連携事業として小学生のバックヤード見学を行ったが、その感想を載せることも検討してほしい。子どもにとって文書館がどのような視点で捉えられているのかを知るのは良いことだ。</p> <p>(委 員) 今年度から全史料協会長事務局を引き受けたが、その負担感はいかほ</p> | | |

どのものか。

(事務局) 年度当初に、総会に向けた予算・決算、監査などの事務が集中的にあったので戸惑った面は否めない。

(委員) 全史料協の当面の課題はどのようなことか。

(事務局) 国立公文書館がアーキビスト認証制度を立ち上げようとしているので、それがどうなるかを注視する必要がある。また全史料協は公文書館の設立運動に取り組んできたが、今年の大会テーマを「文書館をつくる」としたのは、最も設立が進んでいる長野県の例に学ぼうということだった。この成果を今後活かしたい。

(委員) 視察の受入れについては、どのような目的で来たかを年報に明記してほしい。そのことで、寒川文書館に何を期待しているのか、相対的な地位が見えてくるのではないか。

(事務局) 綾瀬市、御殿場市などは、図書館の建て替え計画に公文書館機能を入れるかどうかの検討ということで、両館を視察するものだった。

(2) 令和元年度の刊行物について

○令和元年度中に発行する刊行物の内容や進捗状況について事務局から説明したところ、了承された。その際、次のような質疑があった。

(委員) 県営住宅から出た岡田遺跡についての展示を行い、そのまとめを町史研究に載せる予定であるが、この遺跡の概要について説明をお願いしたい。

(委員) 岡田遺跡の特徴は、なんと言ってもその規模である。縄文時代の環状集落が3つ重なるようにできており、調査していない部分も含めるとわが国最大級の規模になると考えられる。

(委員) 遺構を史跡として保存することはできなかったのか。

(委員) 県営住宅の建替えを契機として行った調査であり、跡地に鉄筋の住宅を建てるスケジュールに合わせて何回にも分けて調査したので、現地での保存は難しかった。

(委員) 遺跡の概要などについて鈴木委員に執筆していただいてはどうか。

(事務局) 展示は県営住宅の歴史と岡田遺跡が半分ずつであり、しかもすでに実施済みの展示結果を報告するだけの3ページほどの記事を想定しているので、委員にご執筆いただくことは考えていなかったが、一応検討したい。

(3) 町制施行 80 周年記念誌について

○令和2年11月に刊行を予定している80周年記念誌について、事務局および内

海委員から、地図を中心にした構成にしたいと、候補となる地図資料を回覧しながら構想案を説明したところ、次の質疑があった。

(委員) 構成案には、地図の他にインタビューを載せるとある。戦中、戦後を体験した方にぜひ協力をお願いしてほしい。

(委員) 伊能忠敬の地図に寒川が出てくるものはないか。

(事務局) 伊能図は海岸を測量した結果を反映したものが中心なので、寒川が詳細に載っているものはあまりなかったと記憶している。今回は80周年がテーマなので、江戸時代の地図はあまり趣旨とは合わないようにも思う。

(委員) 昭和40年「寒川町家屋名入地図」を部分的に使う予定だが、中心に据えることは避けたいという説明があった。何が障害になっているのか。

(事務局) この地図はさまざまな情報が載っている貴重なものだが、40頁にわたるので、この翻刻で記念誌の誌面の全部を使うことになってしまう。80周年記念誌と銘打つからには、時代ごとの変遷を追いたいので、部分的な使用にならざるをえない。また各戸の電話番号が載っており、個人情報に配慮する必要がある。

(委員) この分量の資料を32頁に収めるのは厳しそうなので、町史研究を活用してはどうか。

(事務局) 町史研究であればページ数は多くとることができるが、サイズがA5判になるので、地図をじっくり見ていただくことができなくなる。

(委員) 地図は折り込みにする方法もあるので、検討をお願いしたい。

(4) その他

1) 会議録の署名委員

○鈴木委員が指名された

2) 次回会議

○来年夏に設定したいので、電話等で調整することになった。

| | |
|-----------------------|---|
| 資 料 | (1) 令和元年度事業中間報告について (2) 令和元年度の刊行物について (3) 町制施行80周年記念誌について |
| 議事録承認委員及び 議事録確定年月日 | 鈴木保彦 (令和2年2月5日確定) |